⑸　技術評価点の付与方法　技術提案の評価項目及び技術評価点の付与方法は下記のとおりとする。

１）施工計画

①　管理体制・手法　「品質管理」､「安全管理」及び「環境対策」に関して、適正に実施するための体制と具体的な取組（評価項目②～④に関する提案は除く）評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点(20点)優20点・良上15点・良10点・良下５点・可０点・不可（不適格）

②　品質管理　コールドジョイント対策、空洞防止対策、打継目、養生に着目したトンネル覆工コンクリートの品質向上に資する施工方法　評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点(20点)優20点・良上15点・良10点・良下５点・可０点・不可（不適格）

③　安全管理

㋐　土運搬における用地内工事用道路、交差道路の通行人、通行車両に対する更なる安全対策　評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（20点）優20点・良上15点・良10点・良下５点・可０点・不可（不適格）

㋑　断層破砕帯を含む軟弱な地山におけるトンネル掘削作業に対する更なる安全対策　評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（10点）優10点・良上7.5点・良５点・良下2.5点・可０点・不可（不適格）

④　環境対策

㋐　周辺茶畑等の耕作地及び民家・学校に対する工事中の更なる粉塵対策　評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（20点）優20点・良上15点・良10点・良下５点・可０点・不可（不適格）

㋑　地球温暖化防止対策の推進を目的として、野登トンネルずり搬出（坑内切羽～野登トンネル東坑口盛土場・鈴鹿ＰＡ盛土場）に使用するダンプトラック及び盛土を施工するために必要となる、敷均し、締固め施工機械のCO_2削減に寄与する改善等の提案　評価指標により優／良上／良／良下／可／不可を判定し、判定結果に応じて次のとおり技術評価点を付与する。

・技術評価点（10点）優10点・良上7.5点・良５点・良下2.5点・可０点・不可（不適格）

⑹　入札参加者の選定方法　技術提案の施工計画の内容により、満点100点の技術評価点を付与し、技術評価点が50点以上の者を入札参加者として選定する。

⑺　落札者の決定方法　競争参加応募者に技術提案を提出していただき、技術提案中の施工計画を評価し、技術評価点が50点以上の者を選定し、あらかじめ提出していた入札書を開札し、契約制限価格の範囲内の入札額で最も総合評価点の高い者を落札者とする。総合評価点数の算出方法は、以下のとおりとする。

①　技術評価点　標準案による満点100点とし、上記３⑸による。

②　価格評価点　０　（０≦Ｐ＜0.5Ｌ）

((Ｐ／Ｌ×100）－50)／(Ｘ／Ｌ－0.5)（0.5Ｌ≦Ｐ＜Ｓ）

100－200(Ｐ／Ｌ－Ｘ／Ｌ)（Ｓ≦Ｐ≦1.0Ｌ）

ここに、Ｐ　入札書に記載の価格（入札価格）

Ｌ　契約制限価格

Ｘ　調査基準価格以上の最低入札価格

Ｓ　調査基準価格

ただし、入札価格が全て調査基準価格を下回る場合はＸ／ＬをＳ／Ｌとする。

③　総合評価点　技術評価点×0.5＋価格評価点×0.5

上記において、総合評価点の最も高い者が２者以上あるときは、くじ引きにより落札者を決定する。

⑻　契約金額の決定方法　落札者の提示した入札価格に対して、技術提案（施工計画）の対象外の範囲について技術提案協議を行い、技術提案協議完了後の価格を契約金額とする。

⑼　技術提案の履行に関する事項　受注者の責により、技術提案を履行できない場合は、その程度により請負工事成績表定点を最大10点減点及び契約書第45条の３による請負代金額の減額を行う。また、契約違反としての措置を講じる場合がある。

４　コストオン方式に関する事項　本工事におけるコストオン方式について以下に示す。

⑴　コストオン対象資材　本工事におけるコストオン対象資材は､「トンネル吹付け用セメント」とし、規格・数量・価格等は、入札説明書及び特記仕様書のとおりとする。

⑵　三者協定及び資材等売買契約の締結

①　工事請負契約締結後、中日本高速道路株式会社、本工事の請負人（以下「工事会社」という。)及びコストオン対象資材の調達先（以下「納品会社」という。)の三者間でコストオン対象資材に関する協定を締結するものとする。〔三者協定書〕

②　協定締結後、三者協定に基づき、工事会社及び納品会社の二社間でコストオン対象資材に関する売買契約を締結するものとする。〔資材等売買契約書〕

③　資材等売買締結後、速やかにその写しを中日本高速道路株式会社へ提出するものとする。

④　三者協定書及び資材等売買契約書は、それぞれ入札説明書に添付のとおりとする。

⑶　コストオン対象資材に係る総括管理・施工

①　コストオン対象資材に係る施工は、コストオン対象資材以外の施工と同様、工事会社が統括して行う。

②　ただし、コストオン対象資材に関して、中日本高速道路株式会社と納品会社の履行協定に係る事項及び三者協定書に特段の定めのある事項を除く。

⑷　その他コストオン対象資材に係る事項　コストオン対象資材に係る事項は、三者協定書及び資材等売買契約書の記載に従うものとする。

５　入札手続等

⑴　担当部局　〒460―0003 愛知県名古屋市中区錦２―18―19　中日本高速道路株式会社　名古屋支社　総務企画部契約チーム　電話052―222―1447

⑵　入札説明書の交付期間、場所及び方法

①　交付期間　平成24年５月21日（月）から平成24年７月17日（火）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日午前10時から午後４時まで。

②　交付場所　上記５⑴に同じ。

③　交付方法　入札説明書及び契約書類、図面、仕様書等の設計図書はＣＤ－Ｒにより無償で交付する。

⑶　申請書、確認資料及び参加希望者が共同企業体を構成する場合の共同企業体協定書案（以下「申請書等」という。)の提出期間、場所及び方法

①　期間　平成24年５月21日（月）から平成24年７月17日（火）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日午前10時から午後４時まで。ただし、入札書に限定した扱いとして平成24年７月30日（月）までの土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日午前10時から午後４時までとする。

②　場所　上記５⑴に同じ。

③　方法　持参すること。入札書については上記５⑴に記載する部署への郵送も可（提出期限までに必着のこと。）

⑷　技術提案のプレゼンテーション　技術提案のプレゼンテーションを下記の要領で実施する。

①　時期　平成24年８月３日（金）～平成24年８月17日（金）のいずれかを予定

②　方法　技術提案の内容説明（20分以内）後に質疑応答（10分程度）を行う。

③　その他　申請者別のプレゼンテーション日時及び場所は追って通知する。

⑸　開札の日時及び場所

①　開札日時　平成24年９月25日（火）午前10時

②　場所　上記５⑴の中日本高速道路株式会社名古屋支社８階　入札室

ただし、すべての競争参加者において競争参加資格があると認められかつ、競争参加資格のあるすべてが入札参加者として選定された場合についての開札の日時については下記に示すとおり。

・開札日時　平成24年９月６日（木）午前10時